

募金総額は6500万円
 福田県知事自らが謝辞



安田理事長



福田知事

栃木県遊

技業協同組
 合（安田範
 理事長）は

5月14日、
 宇都宮市の
 「宇都宮グ
 ランドホテ
 ル」で第43

回通常総会を開催した。

安田理事長は、ホールを取り巻く厳しい現状を振り返り、「組合員一同が安定した営業を維持し、発展するためには、積極的な活動を展開していかねばならない」とし、今後の重要な事業の柱として「遊技人口の回復」「高コスト体質からの脱却」「環境自主行動計画の目標達成」の三つを挙げた。

また、遊技機の不公正販売の問題にも言及。「今年1月に4団体間で締結された合意書は、この問題を解決するための第一歩である」と評価する一方、今後も継続して努力していく必要があると強調した。

議案審議では、計6議案がすべて可決・承認された。事業報告の中では、昨年4月1日に開始されたTPSマーク制度（旧AMマークに代わる同県遊協独自の制度）はスムーズに運用されており、今年3月31日までに10万枚を販売し

たことなどを報告した。

また、昨年と同様、社会貢献の一環として、県に200万円、「被害者支援センターとちぎ」に50万円を寄付。

総会後の懇親会には、福田富一県知事自らが出席し、「今年も多額のご寄付をいただき、ありがとうございます。この寄付は昭和58年以来、27年の長きに渡っており、寄付総額6500万円という大きな金額になっております」と謝辞を述べた。寄付金は「いのちの電話」など、県の福祉施策のために使っていくという。



総会宣言を読み上げる五月女善重佐野支部長

茨城県遊協

葉梨議員がプロジェクト
 チームの今後に言及

茨城県遊技業協同組合（松本時夫理事長）は5月22日、水戸市の「水戸京成ホテル」で第29回通常総会を開催した。

松本理事長は「組合活動を一緒にやってきた仲間が、（廃業な